

中間況報告書

団体名 鳥取大学 CITA

我々CITAは10月までの主な活動としては、鹿野での空き家活動、アパートの改修デザイン、県内フィールドワークを行なった。

まず、鹿野での空き家改修活動については、鹿野に住む姉妹が店と利用する空き家の改修の手伝いを行なった。この活動は姉妹が店のデザイン等を決めていたため、片付けや解体などの作業の手伝いを主にしていた。また空き家の改修は完了しており、現在は姉妹が店として利用している。

さらに、上記の活動と並行して空き家を改修して鹿野にリユースハウスをつくるという活動も行なっていた。リユースハウスとは空き家の解体で出てくる廃材などを資材として売る施設のことである。まだ対象建築物を選ぶ段階であるので、今後の年間を通して計画・設計・施工を行なう活動になると考えられる。

次に、アパートの改修デザインについての活動についてである。この活動はユニバーサルホームという会社からアパートの改修頼まれたことをきっかけとした活動である。デザインについては2022年5月時点で決定しており、今回は解体現場の見学と新聞の取材を行なった。今後は完成時に見学及び取材があることが予定されている。

最後に県内フィールドワークについてである。1年生を対象とし、実際に鳥取（米子）の建築を見学することで建築を学ぶことを目的とした活動であり、建築物の説明をしていただく方として、米子で活躍されている建築士の來間直樹さんをお願いした。米子公会堂や東光園などの有名建築からみなとてらすなどの最新の建築まで様々な建築物を見学した。上記の内容が10月までに行なった主な活動である。いずれの活動も、学生は建築を学ぶ機会が得られたと同時に、鳥取の地域活性化や鳥取を知ることにつながる活動となった。